



「世界経済は 改善傾向」

東信倶楽部講演で展望

東信経済倶楽部は、新春講演会を多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開き、クレディ・アグリコル証券マネージングディレクターの森田京平さんが「2020年の日本経済 グローバル政治の行く末とオリンピック後の展望」と題して語った。

(野中準二)

東濃信用金庫の取引先企業の約100人が出席。森田さんは自民党の総裁任期を見据えて安倍政権が経済から憲法改正に軸足を移すと説明。半導体の出荷を指

標に「世界経済はどん底から抜けつつあり、来年に向けて改善傾向に向かう」と展望した。

国内経済に関しては「アベノミクスは8年目に入りますが、労働生産性が上がっていない。企業の経済活動は伸びたが、個人消費は伸びておらず恩恵がない。一方で税金や社会保障保険料の負担が増している」と指摘した。

「2020年の日本経済」と題して講演する森田京平さん
〓多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール